

水郷・弥富の文化財

資料館の近くには、水のまち・弥富らしい文化財がたくさんあります。館内で配布している文化財マップを手に、健康のために楽しく歩いてみませんか。

筏大橋の近くの「ふたつやの渡し」の碑は、かつてこの場所が木曾川の渡し場であったことを記念したものです。江戸時代の終わり、「ふたつやの渡し」のある前ヶ須宿に商人が金魚を持ちこんだのが弥富金魚の始まりといわれます。

日の出小学校の近くにある「おみよし松」は、約370年前の新田開発の頃に植えられたと伝わる大きなクロマツです。すぐそばの筏川に天王祭の「みよし舟」が流れ着いたことが名前の由来です。

「おみよし松」のそばには、山口誓子の俳句「金魚田の中に人住む家があり」の碑があります。また、山口誓子の金魚の句碑は桜大橋の脇にもあります。

「立田輪中人造堰樋門」は、明治時代に立田(現愛西市)の水利組合が輪中の排水のために作った樋門で、人造石を使い丈夫に作られている貴重な近代遺産です。



「文化遺産カード」配布中!

おみよし松と立田輪中人造堰樋門は、現地で写真を撮影して資料館で見せると「文化遺産カード」が無料でもらえます。詳しくは、「文化遺産カード」の公式ホームページをご覧ください。

なお、弥富ふるさとガイドは新型コロナウイルス感染症をめぐる状況が落ち着いたら再開しますので、ぜひご利用ください。



広島研修

悲劇と平和

弥富中学校 若畑 和樹

【海龍】

初めて実物を見て、その大きさにびっくりしました。その先端には、600kgの爆弾がついていて、下に2本の魚雷がついている2人乗りの特攻兵器です。目標の艦艇に向けて2本の魚雷を打った後、「海龍」本体でも突入するという、生きて帰ることができない兵器です。

よく観察すると、後方に穴が開いていました。当時は鉄などの資材が不足していた、粗悪な質の低い鉄を使っていたからだと思います。

実戦では使用されなかったのですが、操縦する人は、初めは10~20代で若い経験が豊富な人々でした。途中から30~40代ですが、初めて兵隊になった人々になっていったそうです。また、「海龍」の製作工程も雑になっていき、品質の低下で不発のものが増えたそうです。

【回天】

人間魚雷の「回天」は戦争中の兵器で有名なものです。水中を進む爆弾である魚雷をもとにした兵器で1人が乗り込み操縦し、目標とする艦艇に体当たりをする特攻兵器です。片道分の燃料しか積まれていません。

途中で燃料が切れて、そのまま沈んでしまったものや、作りが雑だったため、中に水が入って途中で沈んでしまったものなどがたくさんありました。

特攻で亡くなった方の多くが10~20代の若い人々だったそうです。

【感想】

僕は今回の広島研修を通して、戦争の恐ろしさを感じることができました。これら生きて帰ることができない兵器を操縦した人は、10代~20代の若い人が多く、未来ある人々でした。もし、戦争がなければこの人たちは命を落とさずすんだのではないのでしょうか。戦争はたくさんの人の幸せや命を奪い、平和を壊してしまいます。だからこそ、戦争は2度と起こしてはいけなと感じました。

広島研修を通して、今生きていることや、普通に生活ができていることに感謝することができました。そして、平和な世界を自分たちの手で切り開いていけたらなと思いました。武器のない平和な世界になってほしいです。



平和のために

弥富中学校 加藤 紗千

【平和の音色】

「原爆が落ちた後、家に戻るとピアノが立っていた。」と聞いて、すごく驚きました。他の家などは全部つぶれてしまったのに、その家とピアノが無事だったのは奇跡だと思いました。

演奏を聞いて、音楽には人の気持ちを動かす力があることを改めて感じました。被爆を体験したピアノだからこそ伝えられる平和の音色をこれからも響かせ続けてほしいと思いました。

【平和記念資料館】

私は資料館でたくさんの遺書や遺品、戦時中の写真を見ました。

遺書は大きな紙に書いた長い文章もあれば、手帳に書いた短い文章もあり、さまざまでしたが、それには私が思っていたような反戦の気持ちが書いてありました。遺品の服は、布が黒く焦げたり、破れたりしていました。しげるくんのお弁当の中の麦ごはんも真っ黒のつぶつぶになっていました。戦時中の写真も笑顔で写っている写真はなく、みんな悲しそうな顔をしているように見えました。

毎日厳しく制限された生活しかできずに、病気が怪我で苦しんだり、人が亡くなったりするのが当たり前で、ニコリと笑うことすらできなかったのかなと思いました。だから、今こうして平和でニコニコ笑っていることにも感謝したいなと思いました。

【感想】

私は戦争の話や戦争の話を聞く中で、「戦争は人が死ぬだけじゃなくて、その人の趣味や大切な物も奪うんだよ」と教えていただきました。私は人が生きる理由や楽しみの1つに自分の趣味をする時間、幸せだと思える時間があると思います。でも、戦争をすれば、目には見えないけど、すごく大切な物までも全部なくなります。

広島研修に行って、今当然のようにある「平和」がどれだけ素晴らしいものなのかを感じることができました。そして、平和がこれからも続いてほしいと強く思いました。

